

出張  サマーミュージック
@しんゆり!

会場: 昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ

東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

巨匠スターンで聴く、モーツァルト&展覧会の絵

8/3日

[開演] 15:00

[終演予定] 17:00

出演

指揮: ユベール・スターン (東京交響楽団 桂冠指揮者)

Hubert Soudant (Tokyo Symphony Orchestra Conductor Laureate), *Conductor*

ピアノ: 山縣美季*

Miki Yamagata, *Piano*

コンサートマスター: グレブ・ニキティン

Gleb Nikitin, *Concertmaster*

曲目

モーツァルト: 歌劇『皇帝ティートの慈悲』K. 621 序曲 (5分)

Mozart: Overture to Opera "La clemenza di Tito", K. 621

モーツァルト: ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K. 595* (34分)

Mozart: Piano Concerto No. 27 in B-flat major, K. 595

第1楽章 アレグロ 第2楽章 ラルゲット 第3楽章 アレグロ

— 休憩 (20分) —

ムソルグスキー (ラヴェル編): 組曲『展覧会の絵』 (35分)

Mussorgsky (arr. Ravel): Pictures at an Exhibition

プロムナード

第1曲 小人

プロムナード

第2曲 古城

プロムナード

第3曲 テュイルリーの庭

第4曲 ビドロ (牛車)

プロムナード

第5曲 卵の殻をつけた雛の踊り

第6曲 サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ

第7曲 リモージュの市場

第8曲 カタコンブ

死せる言葉による死者への呼びかけ

第9曲 バーバ・ヤガー

第10曲 キエフ (キーウ) の大門

*演奏時間は目安です。 *出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する
電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまい
ください。時計のアラーム・時報などは設定の解除を
お願いいたします。ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが
正しく装着されていることをご確認ください。演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の
公演です。ご自分の席でお聴きください。許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断り
いたします(カーテンコール時を除く)。演奏中に音が出ないように十分ご注意ください
(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際
の音・プログラムをめくる音など)。

演奏中の会話はお控えください。

演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を
十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援
をお送りください。

客席内での飲食はご遠慮ください。

館内では咳エチケット・適切な手指消毒を
推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、
スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催: 川崎市、ミュージアム川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ)

共催: 昭和音楽大学

後援: 川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM

TBSラジオ、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

川
Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

今なら「若き天才」と呼ばれるはずの 早逝した作曲家ふたりの傑作をゆったり楽しもう

今日のコンサートで演奏される作曲家はどちらも苗字が「M」で始まる。どこかに人生の共通点があるだろうかとあえて探してみたけれど、生きた時代もその音楽教育も、共通するところは見つからなかった。ただ、ふたりとも、長寿が当たり前となった21世紀の私たちから考えると、かなり若くして亡くなっている。その人生も振り返りつつ、演奏される作品を紹介してみよう。

人生の最後の年に書いたオペラ・セリアから始まる

モーツァルト：歌劇『皇帝ティートの慈悲』序曲

まず演奏されるのは、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）の最後のオペラ『皇帝ティートの慈悲』K.621から「序曲」である。モーツァルトは1756年1月27日、夜8時頃、現在はオーストリアに属するザルツブルクで生まれた。父親も優れた音楽家だったアマデウスは幼少期から才能を発揮し、姉ナンネルと共にヨーロッパ各地の貴族の前で演奏したり、父親と共に音楽修業の旅に出かけたりした。小さな子供をそんなに連れ回したりするのは、現在だったら〈なんとか・ハラスメント〉になるだろうが、時代はまだ18世紀。子供を尊重し、教育を与えることが社会のテーマになるのはフランス革命以後の話である。

さて、モーツァルトはイタリア旅行中にたくさんの作曲家と交流する中で、オペラの書き方を学んだ。最初のオペラ『アポロとヒュアキントス』は1767年、なんと11歳の時の作である。ミラノの総督から委嘱されたオペラ・セリア『ポントの王ミトリダーテ』は14歳の時の傑作。そしてオペラ・ブッフア『フィガロの結婚』などの傑作群は20代末から30代はじめの作品であり、この『ティート』は亡くなる年、1791年に書かれた。35歳だった。

オペラ・セリアというジャンルは歴史などにテーマを採った〈シリアス〉な物語をもとに書かれる。『ティート』はローマ皇帝ティートが、部下などの裏切りに遭いながらもそれを許すという古い台本をもとに書かれたが、「序曲」（ハ長調）は厳かさと同様にどこか暖かみを感じさせる音楽だ。モーツァルトらしい快活さもまだ健在。

数多くの傑作が残るピアノ協奏曲もその最後の曲を

モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番

次いで、モーツァルトが最も多くの傑作を残したジャンルと言えるピアノ協奏曲から、やはり最後の『第27番 K.595』を聴こう。ウィーンで活動するようになってから、モーツァルトの生活を支えたのが自分の新作を発表する予約演奏会。まるで、現在のポップ・アーティストのようでもある。その中心が新作のピアノ協奏曲であり、1784年にウィーンで初演された『第14番』（モーツァルト自作目録の第1番）以降、『第24番』までがそれに当る。『第27番』（変口長調）は1791年1月のクラリネット奏者ベアのコンサートのために書かれたとされる。

オペラ『ティート』よりは8か月ほど前で、モーツァルトがこの曲を書きながら死を意識していたかどうかはわからないけれど、1791年のアマデウス最後の年の作品には、すべてどこかに死の影を感じてしまうファンも多いという。12月5日の午前0時過ぎにモーツァルトはこの世を去った。全3楽章のすべてが、どこか静謐で、清らかに満ちた音楽である。

ラヴェルがその魅力を全開にした不思議なピアノ曲

ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲『展覧会の絵』

さて、後半はロシアの作曲家モデスト・ペトローヴィチ・ムソルグスキー（1839～1881）の組曲『展覧会の絵』（ラヴェル編）が演奏される。帝政ロシアの時代、いわゆる「ロシア五人組」のひとりとして作曲活動を行ったムソルグスキーは、現在では『展覧会の絵』の他、オペラ『ボリス・ゴドゥノフ』などが演奏されている。

地主階級に生まれ、母親からピアノの手ほどきを受けた彼は、サンクトペテルブルクに出て学んだ時代には軍人を目指していた。多くの文化人との出会いの中でそれを諦め、先輩世代の作曲家であるバラキレフと出会ってからは、本格的に作曲を始めた。その後、下級の官吏として生計を立てながら音楽活動を開始するが、アルコール依存症も進行し、音楽仲間からも疎まれるようになった。

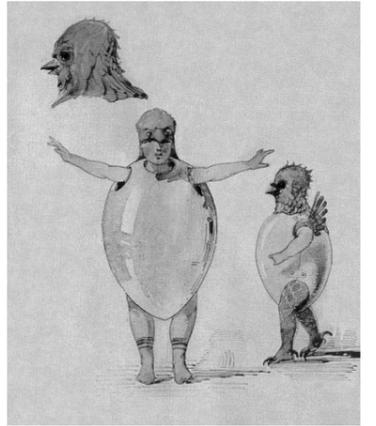
そんな時に、友人の建築家・画家であったヴィクトル・ガルトマン（日本ではハルトマンとも表記する）が39歳で亡くなり、彼の遺作展が開催された。その展覧会での体験がムソルグスキーを刺激し、書き上げられたのがピアノ用の組曲『展覧会の絵』であった。1874年のことだ。ムソルグスキーは1881年に42歳で亡くなったが、この『展覧会の絵』は彼の生前には演奏されることはなかった。

しかし不思議な魅力に満ちたピアノ曲を管弦楽化する試みはたくさん行われ、特にフランスの作曲家モーリス・ラヴェル（1875～1937）が指揮者クーセヴィツキーの依頼によって1922年に管弦楽用に編曲した版が世界的に有名となった。ラヴェルは終曲「キエフ（キーウ）の大門」からオーケストレーションを始めたと言われるが、各「プロムナード」の変化も含めて、全体に配されたオーケストレーションの色彩感と「キエフ（キーウ）の大門」へ至るクライマックスの作り方など、何度聴いても見事である。

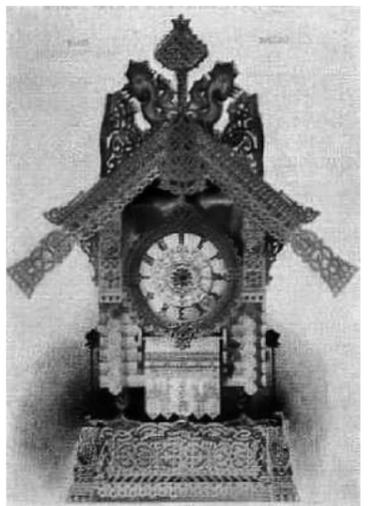
ラヴェルの管弦楽用編曲はオリジナルのピアノ組曲の流れをそのまま使っている。4分の5拍子で開始される「プロムナード」～「小人」～「プロムナード」～「古城」～「プロムナード」～「テュイルリーの庭」～「ビドロ（牛車）」～「プロムナード」～「卵の殻をつけた雛の踊り」～「サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ」～「リモージュの市場」～「カタコンブ」～「死せる言葉による死者への呼びかけ」～「バーバ・ヤガー」～「キエフ（キーウ）の大門」と繋がって行く。



「パリのカタコンブ(地下墓地)」
第8曲「カタコンブ」のモチーフ



「バレエ『トリフィ』のための衣装デザインのスケッチ」
第5曲「卵の殻をつけた雛の踊り」のモチーフ



「鳥の足のうえの小屋」
第9曲「バーバ・ヤガー」のモチーフ



「キエフ市の門の設計図」
第10曲「キエフ(キーウ)の大門」のモチーフ

■出演者プロフィール



©N.Ikegami

指揮：**ユベール・スダーン** Hubert Soudant, *Conductor*

オランダ生まれ。プザンソン国際指揮者コンクール最高位、カラヤン国際指揮者コンクール第2位、グイード・カンテルリ国際コンクール優勝に輝いて以来国際的な活動を開始。これまでに、ベルリン・フィル、ロンドン響、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ローマ歌劇場、フェニーチェ歌劇場等に数多く招かれる。フランス国立放送フィル等の音楽監督を歴任後、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の音楽監督を13年務め、2004年7月にはザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールデン勲章を授与された。また、2004年9月より10年にわたり東京交響楽団音楽監督を務め、現在、同団桂冠指揮者。



©T.Tairadate

ピアノ：**山縣美季** Miki Yamagata, *Piano*

2002年鎌倉市出身。第89回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。かながわ音楽コンクールでユースピアノ部門とピアノ部門の両方でコンクール史上初の同年二冠を果たす。第7期東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2022年チャンネル・ピグマリオン・デイズ参加アーティスト。2022、2023年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。2023年度青山音楽財団奨学生。東京藝術大学卒業後、パリ国立高等音楽・舞踊学校第2課程ピアノ科に在籍中。Hortense CARTIER-BRESSON、Fernando ROSSANO、東誠三、日比谷友妃子の各氏に師事。

■オーケストラ・プロフィール

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra



Jonathan Nott, Music Director

- 【創設】 1946年創立。2004年より川崎市のフランチャイズ・オーケストラ。
- 【指揮者】 ジョナサン・ノット(音楽監督)、
秋山和慶(故人)、ユベール・スダーン(以上、桂冠指揮者)、
原田慶太楼(正指揮者)、大友直人(名誉客演指揮者)、
アルヴィド・ヤンソンス、上田仁、遠山信二(以上、永久名誉指揮者・故人)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 ミューザ川崎シンフォニーホール、サントリーホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://tokyosymphony.jp>

サマーミュゼ特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュゼ
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

- ほぼ日刊サマーミュゼに
感想が載るかも?
[https://gws-net.com/
summermuza2025/](https://gws-net.com/summermuza2025/) →



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュゼ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

【特別賛助会員】 法人 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェクト株式会社 三井不動産グループ	【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会	公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ	セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎	ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人 【わくわくミュゼ法人サポーター】 稲毛神社 おつけもの慶
---	---	---	--	---

個人 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一	遠藤智和 大越麻美子 大須賀徳也 大家具幸 岡垣克則	小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰	金山直樹 喜多純一 木伏源太 久住映子 小菅みつほ	国府保周 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂	佐藤義寛 新保和浩 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹	高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子	西 洋子 西山英昭 長谷川喜代江 林 直人 廣瀬治昇	藤嶋とみ子 堀江智巳 前田 泉 松嶋邦生 山内利夫	山下啓史 山田昌克 D.Y K.O M.C	N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順
--	--	--	---------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

ミュゼ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。